

国内旅行も海外旅行もエクスペディア

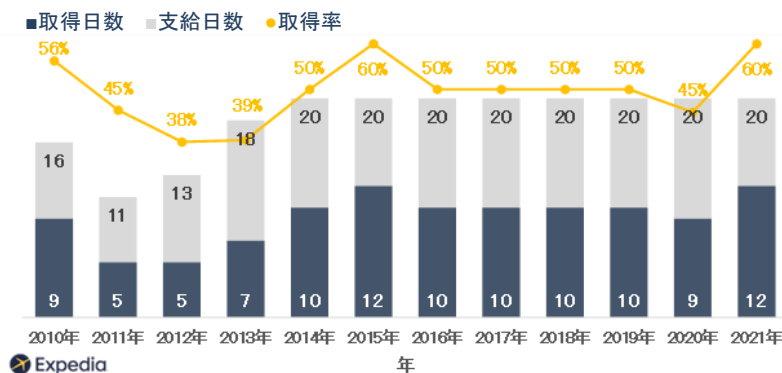
**エクスペディア 世界16地域 有給休暇・国際比較調査 2021 第二弾！**  
**有給休暇の取得率が改善した日本、若者の取得率が最も高い**  
 半面、課題も 半数以上の人を感じる「休み不足」  
 「上司・会社が休暇取得に協力的」と感じる人は50%に減少

世界の大手総合旅行ブランドの一つであるエクスペディア ([www.expedia.co.jp](http://www.expedia.co.jp)) では、毎年恒例の「有給休暇の国際比較調査」リリース第二弾を発表します。なお、第一弾のプレスリリース (<https://welove.expedia.co.jp/press/50895/>) とあわせてご確認ください。

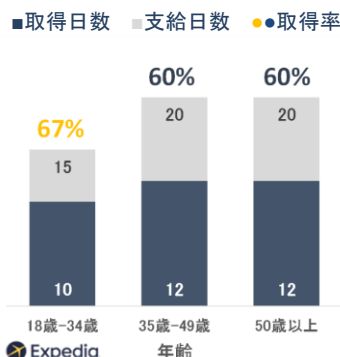
**6年ぶりに改善した日本の有給休暇の取得率、若者の取得率が最も高い**

日本で働く人の有給休暇の取得率は6年ぶりに改善、過去11年の調査の中で最高の60%となりました（2015年と同率）。世代別に見てみると、18歳から34歳の若者の取得率が67%、35歳以上の世代は60%となりました。支給される休暇日数は若者の方が少ないものの、それ以上の世代に比べ、積極的に有給休暇を取得していることがわかります。

【日本】有給休暇取得日数・取得率の2010年から2021年の推移



【日本・世代別】有給休暇の取得日数・取得率



**休暇中「家族やパートナーと一緒に過ごす」のが大切、休暇は仕事にポジティブな影響も**

より価値のある休暇にするために大切なことについて聞いてみると、最も割合が多かった回答は「家族やパートナーと一緒に過ごす（40%）」でした。

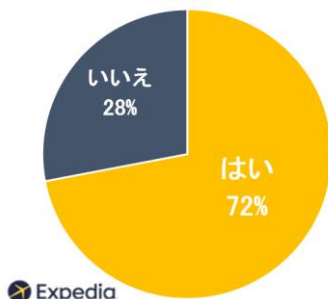
また、休暇を取得することによる仕事への影響について聞いてみると、日本で働く人の72%が「休暇後はポジティブな姿勢で仕事に取り組める」と回答、さらには64%の人が「休暇後は仕事へのモチベーションが上がる」と回答しました。日本で働く人にとって、休暇を取得することはプライベートな生活での幸せや人間関係だけでなく、仕事にもポジティブな影響があると考えているようです。

【日本】より価値のある休暇に

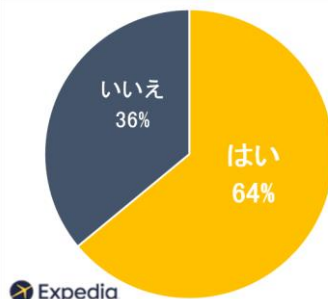
Expedia するために大切なこと

1	家族やパートナーと一緒に過ごす (40%)
2	仕事のメールやメッセージをチェックしない (29%)
3	家族やパートナーとともに新しい体験をする (27%)
4	仕事の責任や予定がない時間を過ごす (24%)
5	自分の住んでいる地域とは全く異なる文化の地域で過ごす (15%)

【日本】「休暇後はポジティブな姿勢で仕事に取り組めるか」に対し、「はい」と回答した人の割合



【日本】「休暇後は仕事へのモチベーションが上がるか」に対し、「はい」と回答した人の割合

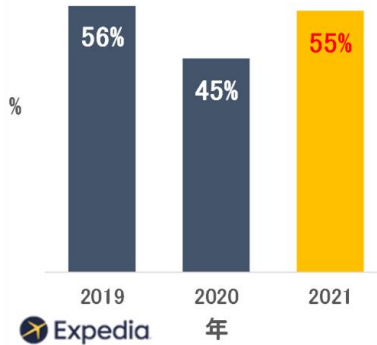


# 日本で働く人の半数以上が感じる「休み不足」、43%の人は休暇中に「連絡を遮断しない」 その原因は休暇取得に対する「上司・会社の協力体制」が感じられないことか

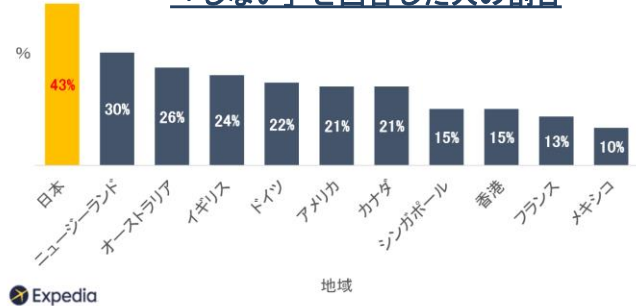
日本で働く人は休暇を取得することのポジティブな影響を感じている一方で、55%の人が「休み不足を感じている」と回答。2020年はその前年に比べ\*「休み不足」を感じている人が約10%減少していたものの、2021年には再度10%上昇してしまう結果となりました。さらに、「休暇中に連絡を遮断するか」という質問に対し、43%が「連絡を遮断しない」と回答、世界で最も多い結果となりました。

※過去の調査結果の詳細は最後のページに纏めています

【日本】  
「休み不足を感じる」と回答した人の割合の推移



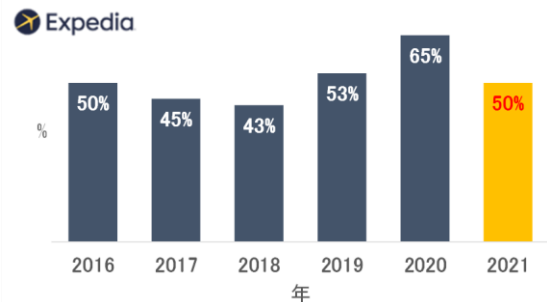
【世界】  
「休暇中に連絡を遮断するか」に対し、「しない」と回答した人の割合



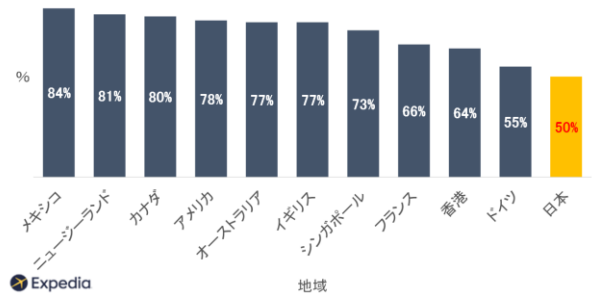
その原因は、休暇取得に対する上司・会社の協力体制にありそうです。「上司・会社が休暇取得に協力的か」という質問に対し、「はい」と回答した人の割合は50%にとどまりました。2020年は65%が「はい」と回答していましたが、2021年にはまた減少しました。また、世界の各地域と比較してみると、日本は最も低い割合であることがわかりました。上司・会社が休暇取得に協力的でないことが「休暇中も連絡を遮断してはいけない」というプレッシャーとなっているのかもしれません。

「上司・会社が休暇取得に協力的か？」に対し、「はい」と回答した人の割合

【日本】



【世界】



新型コロナウイルス感染症の感染拡大は世界的に働き方の変化をもたらし、在宅勤務やワーケーションなどの柔軟な働き方を楽しめるようになった一方で、日本においては休暇中でも連絡を取れなければならないというプレッシャーが依然強く残っているようです。

有給休暇の取得率は改善した日本ですが、休暇を十分に楽しみ、仕事へのモチベーションを上げるためには、まだまだ「働き方改革」を進める必要があります。

## ■ アンケート概要

- サンプル数：計14,544名/16地域（日本のサンプル数1,003名）
- 調査対象：日本、アメリカ、カナダ、メキシコ、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、香港、マレーシア、シンガポール、韓国、タイ、台湾
- 調査期間：2021年12月14日～12月30日
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査会社：Northstar Research Partners

※本調査では小数点第1位で四捨五入しているため、足し上げても合計数値が100%とならない場合がございます。

## ■ 過去の調査結果

※過去の調査は以下の通りです。

2020年版① : <https://welove.expedia.co.jp/press/50614/>

2020年版② : <https://welove.expedia.co.jp/press/50654/>

## エクスペディアは旅行のストレスを軽減できるようにサポートします

コロナ後の旅行では状況に応じた特別なサポートが必要であることから、エクスペディアでは「究極の旅のパートナー」として、あらゆる場面でお客様をサポートします。旅行の悩みを理解しストレスを軽減できるよう、エクスペディアでは、以下のようなことを行っています。

### ➤ コロナ禍の旅行ガイドラインに関する便利機能

「[新型コロナウイルス \(COVID-19\) トラベルアドバイザー](#)」では、渡航先の規制や安全衛生に関するガイドライン、旅行時のアドバイスについて検索できます。また各宿泊施設の詳細ページでは、感染症対策を簡単にチェックできるようになっています。(新型コロナウイルスに関連する最新の旅行情報については、予約前に関連する政府当局の旅行ガイドラインをご確認ください)



宿泊施設ページの新型コロナウイルス対策

### ➤ 柔軟な旅行予約の提供

エクスペディアの旅程表から、簡単に日付や宿泊人数、部屋タイプといった予約変更が可能です。また、エクスペディアには「バーチャルエージェント」という、オンラインチャットを通して旅程に関する質問や変更を簡単にサポートできる機能があります。

### ➤ お得な予約タイミングをお知らせ

「料金カレンダー」より宿泊施設や航空券のお得な時期を簡単に把握できます。

## エクスペディア概要

エクスペディア (Expedia) は、世界の大手総合旅行ブランドの一つです。旅行者が最大限に旅行を満喫できるよう、旅行に必要なものを集約し、予算内で満足できる旅行を提供するとともに、全ての段取りにおいて弊社からのサポートを感じていただけるよう心掛けています。

またグローバルに展開しているブランドとして誰よりも旅行者を理解し、必要なものを必要なタイミングで提供していきたいと考えています。最新のテクノロジーのもと、ホテル、航空券、パッケージツアー、現地ツアーなどの豊富な選択肢から、それぞれのニーズを満たす旅行体験をお届けしていきます。

■ ホームページ : <http://www.expedia.co.jp>

■ アプリ : <https://www.expedia.co.jp/app>

■ LINE : @expediajapan

※ 2022 Expedia, Inc. はエクスペディアグループの会社です。全著作権所有。エクスペディア及び飛行機のロゴは、米国 Expedia, Inc. の商標または登録商標です。CST# 2029030-50